



ゆくて遥かに

令和2年11月16日(月)

第133号

長野県松本深志高等学校長

科学の甲子園全国大会へ(11月8日)

第10回「信州サイエンステクノロジーコンテスト」が、8日、県の総合教育センターで開催されました。このコンテストは「科学の甲子園全国大会」の長野県予選を兼ねた大会で、県教委が主催しています。今年は11校から16チーム(1チーム6~8名、高校1・2年生で構成し、今年はコロナ感染予防のため1校からの参加は2チームまで)がエントリーしていて、深志からは2チ



ーム16名が出場しました。対戦方法はチーム対抗戦、筆記競技(数学、物理・化学・生物・地学の理科4科目、情報)と実技競技(今年は総合分野のみ)の合計点で総合順位を争います。実技の課題は事前に示されていて、二週間程前から物理教室で試行錯誤と研究を積み重ねて臨んだそうです。結果は、深志Aチームが筆記、実技共に1位の完全優勝を果たし、全国大会出場を決めました。また、Bチームも筆記10位、実技5位の総合8位に入る健闘ぶりでした。



生徒自ら行う学習環境整備事業(11月7日)

この事業は、県立高校の生徒が校舎等を大切に、学習環境の整美(備)に対する関心を高めるため、生徒が主体となって自ら行う維持修繕等に対して、県教委がその経費を負担するものです。具体的には、(1)生徒が中心となって生徒会活動、HR活動、クラブ活動等で行う校舎などの維持修繕等、(2)保護者等が中心となってPTA活動等で行う校舎などの維持修繕等、(3)前2号に掲げるもののほか、当該事業の趣旨に沿うものとして、学校長が認めた事業、



としています。予算規模は十数万円程度と決して大きくはありませんが、県財政が厳しい折、学習環境整備を行うための貴重な事業の一つです。今年度は、野球部と放送部・地域交流委員会の有志から出された二つの申請が採択され、7日の土曜日までに作業が終了しました。野球部は、「授業や部活動で校庭を使用することで凸凹ができ、雨が降ると授業や部活動に支障が出ることもあるため、その対策として校庭に土を入れ、平らにすることで生徒がより取り組みやすい環境へと整える」ということで、グラウンドに黒土を入れてならしました。(作業は7月に実施済)また、放送部・地

域交流委員会の有志は、「二棟北の犬走りに敷設されている『玉砂利』(約40平米)部分を撤去し、砕石を敷き詰めて転圧して整地を行い、とんぼ祭開催時に逼迫する搬入関係車両等の駐車、並びに生徒の駐輪スペースを確保する」ことを目的に、業者の方の協力も得ながら作業を進めていました。自分たちの学習環境の整備を自分たちの手で行う。校舎はそこに学ぶ者のためにありますが、同時にまた、そこに学ぶ者の姿を映す鏡のようなものでもありますね。



Wi-Fi 設置工事始まる（11月7日～11日）

県立高校 Wi-Fi 環境整備事業の工事が、ようやく7日から11日にかけて本校でも行われました。「Society5.0 の時代に必要となる資質・能力を育成するとともに、特別な支援を必要とするなどの多様な生徒たちの力を最大限引き出すためには、ICTを基盤とした様々な先端技術を効果的に活用していくことが必要不可欠です。これまで整備してきた ICT 機器の有効活用と、将来的な BYOD (Bring Your Own Device) による『生徒1人1台端末』環境に向け、校内を Wi-Fi 化して高速大容量ネットワークを令和2年度中に整備します」(今年2月の県教委の説明) 本来ならばもっと早くに Wi-Fi 利用可能となる予定でしたが、コロナの影響もあって国庫補助が大幅に縮小され、工程も大きく後ろにずれこんでしまいました。設置工事は11日までにほぼ終了、12月中旬に切り替えが行われ、Wi-Fi は「一応」利用可能となります。ただし、外部回線の調達が間に合わないようで、接続状況についてはあまり期待できないとのこと。快適な環境が実現するのはもう少し先になる予定です。



その他の話題をいくつか

★ 13日の県の教育委員会定例会で、来年度入学生の募集定員が決定されました。本校は今年度1クラス減の7学級募集でしたが、来年度は再び8学級に戻します。これは、11区の現中学3年生が昨年度よりも57名増えていることが一番の要因です。長期的には子どもの数が大きく減っている中で、特異な年ということです。入試本番、コロナ対策が焦眉の急を要する課題です。

★ 14日の土曜日に、本校保護者対象の授業公開（1・2時限）と深志42回生の皆さんによる2年生への特別講義、そして卒業30周年記念式典が行われました。詳しくは次号で報告します。今月の土・日は行事が目白押しです。

★ 深志28回生3年8組が、8日の日曜日の午後、母校137番教室に集まって、旧担任の山本悟朗先生を送る会を開催されました。卒業後も



色づく玄関前のヤマボウシ

山本先生を囲んでLHRを行ってこられた皆さん。昨年度、放送委員会が「最後のLHR」と題した番組を制作し、NHK杯全国高校放送コンテストで優勝を飾っています。山本先生は今年のLHR目前の10月29日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。



今週の予定（通常授業、信大連携ゼミ）

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
16	月	学年会	教育関係功労者表彰
17	火	京都大学高大連携学びコーディネーター事業	鼎談深志
18	水	職員会	国体準備委員会
19	木		校長会管理運営委員会
20	金	午後特曜 図書館ゼミ	WWL運営指導委員会
21	土	信大連携ゼミ（1年）	
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	学年末考査（3年） 面接週間（～11/27） 学年会	中信地区校長会

